

第2回有識者等意見聴取会議 意見交換概要

1. ハンドブック改訂案について

(目的, 対象など)

- ・キャリア形成や, 介護との両立に関する情報が盛り込まれるなど, 育児期だけでなく, より多様な, 働く女性の姿に対応した, 内容の充実が図られている。
- ・男性の育児参画, 企業における環境整備に関する情報が盛り込まれるなど, 男性や企業にも活用してもらおうという内容になっている。

(内容, 表現, 装丁など)

- ・ジェンダーバイアスに留意しながら, 性別役割分担の固定化や追認につながるような記述や表現, デザインは見直されていると思う。
- ・一見, 男性の育児休業に関する情報が少なくなったように感じたが, 追加された専門家のコラムが良かった。女性活躍推進で重要なのは男性の家事育児参画であることが伝わる内容である。
- ・働く女性が, 仕事や, 家事, 育児, 介護に時間を取られがちの中で, 自分を見つめる時間がなかなか持てないという声を聞く。このハンドブックの中に, 自分の生き方やライフプランを考えることの重要性を取り上げているのが良い。
- ・女性活躍の推進がダイバーシティ経営の実現につながることにについて掲載している項目があるが, なぜ, 女性活躍が企業成長につながるのかもっと詳しく表現し, 事業主側がメリットを感じることができる書きぶりにした方が良いと思う。
- ・改訂版では事業主に向けたメッセージが増えたことについて好意的に受け止めている。

(「欲張り」という表現について)

- ・「欲張りなライフスタイルの実現」というのは, 県のビジョンに掲げられた目指す姿であり, あらゆる県の施策を通じてその実現をめざす理念であることから, その趣旨が伝わるよう努力しようとする県のスタンスは理解できる。
- ・「欲張り」という文言を残すことは反対。“丁寧に説明した”と言っても, 一般的語義とは異なる解釈を押し付けている。政策決定側と現に出産育児等をしている世代の認識のギャップがある。経緯からしても改訂版には残すべきではない。「欲張り」という表現が残っていることで手に取ってもらえないことになると, 非常に残念。
- ・「欲張り」という表現については, 県民アンケートの意見を参考に再度, 検討して欲しい。

2. その他

- ・社会経済情勢の変化や、個人のライフスタイル・価値観の多様化などに対応し、今後も継続的に、見直しや改訂を行う必要があるのではないか。
- ・ハンドブックの活用について、企業や個人へのPRに加え、各種団体との連携なども積極的にお願いしたい。
- ・広島県以外の方にも積極的に活用して欲しい。
- ・前回のハンドブックを持っている方に混乱が起きないように、また上述の通り、社会経済情勢の変化等に応じて今後も継続的に見直し・改訂を行う必要性が考えられることから、今回のハンドブックが改訂版であることとその日付をもっと明示的にし、県民の声を聞いて見直し・改訂に至った背景もハンドブックの初め、または終わりの適切な場所に記載すべきではないか。